

九州地方農民團體懇談會成立の事情

全農福岡縣聯委員長田原春次は九州地方農民組合の戦線統一を圖らんとして、九月上旬全農水平社執行委員會議長松本治一郎並に全農福岡岡地區代表者（松岡文部長）岩田重藏等に提議して其の賛成を得、別紙の如き提唱文並に招請状を作製して、日農、全農（福佐）及び全農縣聯の各支部長宛發送し、同月二十五日福岡市に於て戦線統一會議を開催することとなつたのであるが、日農九州同盟會に於ては其の主義主張を異にする全農（縣聯並に福佐）全水との共同戦線を張ること不可能なりとして、同會議に參加しなかつたのである。従つて同日の會議は之を懇談會として座談的に協議するに止まつたが、尙右懇談會を存続せしめて戦線統一に邁進することを決定したのである。然しながら日農九州同盟會の態度右の如く其の參加は當分見込がないから初期の目的を

達することは容易でない。然るに特定の問題に限りての提携は實現されそうであり其の空氣の動いてゐることは看過せられない事實である。

九州地方農民團體懇談會狀況

- 一、日時 昭和八年九月二十五日自午後三時—同五時
- 二、會場 福岡市松園公會堂
- 三、出席者

全農縣聯委員長	田原春次
全農大分縣聯	野上徹二
全農福岡聯合會委員長	重松愛三郎
同 爭議部長	矢野勇助
同 唐津支部長	木村卯太郎